

|              |               |  |
|--------------|---------------|--|
| 単元(題材名)      | 1. なかまづくりと かず |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算        |  |

### 【到達目標】

|               |                                                          |
|---------------|----------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 観点を決めて、仲間集めができる。                                       |
|               | ○ 同じ集合でも、観点を変えると異なった分類ができることがあることがわかる。                   |
|               | ○ ものの個数の多い少ないを、1対1対応によって比較することができる。                      |
|               | ○ 直接操作がしにくいものの個数の多少を、操作しやすいものに置き換えて、1対1対応によって比較することができる。 |
|               | ○ 1から10までの数について、数の唱え方や数え方を理解し、正しく数えることができる。              |
|               | ○ 1から10までの数について、数字の読み方やかき方を理解し、読んだり書いたりすることができる。         |
|               | ○ 0の意味や表し方を理解し、用いることができる。                                |
|               | ○ 0から10までの数の系列や大小がわかる。                                   |
|               | ○ 5から10までの数を2つに分解することができる。                               |
|               | ○ 5から10までの数を2つの数の和として捉え、5から10までの数の構成を理解することができる。         |
| 思・判・表         | ○ 集合を考えると、どのような観点の集合にするかを考えることができる。                      |
|               | ○ 直接操作がしにくいものの個数の多少を比較する方法を考えることができる。                    |
|               | ○ 1から10までのものの集まりの多少や数の大小を、数字によって捉えることができる。               |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 示された観点や自分で決めた観点をもとに、仲間分けをしようとする。                       |
|               | ○ いろいろなものの個数の多少を1対1対応のしかたを工夫して比較しようとする。                  |
|               | ○ 具体物－数図・ブロック－数字の関係から、数概念の理解を深めようとする。                    |
|               | ○ 5から10までの数を2つの数に分解し、順序よく並べたときの規則性をみつけようとする。             |

### 【評価規準】

|               |                                           |
|---------------|-------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 観点を決めて、仲間集めをしている。                       |
|               | ○ 同じ集合でも、観点を変えると異なった分類ができることがあることを理解している。 |
|               | ○ ものの個数の多少を、比べる対象どうしを線で結ぶ1対1対応によって比較している。 |
|               | ○ ものの個数の多少を、半具体物に置き換えて、1対1対応によって比較している。   |
|               | ○ 1から10までの数について、数の唱え方、数え方、読み方、書き方を理解している。 |
|               | ○ 1つもないことを0と書き表すことを理解している。                |
|               | ○ 1から10までのものの数の多少や、数の大小を理解している。           |
|               | ○ 0から10までの数の系列を理解している。                    |
|               | ○ 5から10を2つの数に分解している。                      |
| 思・判・表         | ○ 集合を考えると、どのような観点の集合にするかを考えている。           |
|               | ○ 直接操作がしにくいものの個数の多少を比較する方法を考えている。         |
|               | ○ 1から10までのものの数の多少や、数の大小を数字で捉えている。         |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 示された観点や自分で決めた観点をもとに、仲間分けをしている。          |
|               | ○ いろいろなものの個数の多少を1対1対応のしかたを工夫して比較している。     |
|               | ○ 具体物－数図・ブロック－数字を線で結んで数を捉えている。            |
|               | ○ 5から10までの数を2つの数に分解し、順序よく並べている。           |

|              |             |  |
|--------------|-------------|--|
| 単元(題材名)      | 2. なんばんめ    |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算 B 図形 |  |

### 【到達目標】

|               |                                                     |
|---------------|-----------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 前から○番め，上から○番め，左から○番めなどのように，ものの位置を順序数を用いて表すことができる。 |
|               | ○ 順序数と集合数の意味の違いがわかり，正しく用いることができる。                   |
|               |                                                     |
| 思・判・表         | ○ 順序数と集合数の意味の違いを考えることができる。                          |
|               |                                                     |
|               |                                                     |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 順序や位置を表すのに，日常生活で進んで数を用いようとする。                     |
|               |                                                     |
|               |                                                     |

### 【評価規準】

|               |                                                |
|---------------|------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ □□は，前から何番めの位置にいるかを指摘している。                    |
|               | ○ □□は，後ろから何番めの位置にいるかを指摘している。                   |
|               | ○ △△は，上から何番めの位置にいるかを指摘している。                    |
|               | ○ ××は，左から何番めの位置にいるかを指摘している。                    |
|               | ○ 順序数と集合数の意味の違いがわかり，順序数にあたる部分に色を塗ったり，線で囲んだりする。 |
|               | ○ 順序数と集合数の意味の違いがわかり，集合数にあたる部分に色を塗ったり，線で囲んだりする。 |
| 思・判・表         | ○ 順序数と集合数の意味の違いを考え，数を用いて順序や位置を表現している。          |
|               |                                                |
|               |                                                |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 整列したときなど，自分の位置を順序数を使って表している。                 |
|               |                                                |
|               |                                                |

|              |                      |  |
|--------------|----------------------|--|
| 単元(題材名)      | 3. あわせて いくつ ふえると いくつ |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算               |  |

### 【到達目標】

|               |                                           |
|---------------|-------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 合併の場面，増加の場面について，加法の意味を理解することができる。       |
|               | ○ しき，たしざんの用語を知り，正しく用いることができる。             |
|               | ○ 合併の場面，増加の場面を加法の式に表すことができる。              |
|               | ○ 和が10以下の加法の計算方法を理解し，計算することができる。          |
|               | ○ 0を含む加法について，式の意味や計算方法について理解し，計算することができる。 |
| 思・判・表         | ○ 加法が用いられる場面について，その関係を式に表して答えを求めることができる。  |
|               | ○ 和が10以下の加法の適用問題を解いたり，お話をつくったりすることができる。   |
|               |                                           |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 日常の事象から合併や増加の場面を捉え，進んで加法を用いようとする。       |
|               | ○ 加法のお話をつくろうとしている。                        |
|               |                                           |

### 【評価規準】

|               |                                        |
|---------------|----------------------------------------|
| 知・技           | ○ 合併の場面について，加法の意味と式の表し方を理解している。        |
|               | ○ しき，たしざんの用語を知り，正しく用いている。              |
|               | ○ 増加の場面について，加法の意味と式の表し方を理解している。        |
|               | ○ 和が10以下の加法の計算方法を理解している。               |
|               | ○ 和が10以下の加法の計算をしている。                   |
|               | ○ 和が10以下の加法計算を習熟するために，計算カードを使って練習している。 |
|               | ○ 0を含む加法の式の意味や計算方法を理解している。             |
|               | ○ 0を含む加法の計算をしている。                      |
| 思・判・表         | ○ 問題文から合併の場面を捉え，加法の式に表して答えを求めている。      |
|               | ○ 問題文から増加の場面を捉え，加法の式に表して答えを求めている。      |
|               | ○ 式と絵を用いて，加法のお話をつくっている。                |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ ブロックなどの操作活動を通して，合併や増加の意味を考え，説明している。  |
|               | ○ 日常の事象から合併や増加の場面を捉え，進んで加法を用いている。      |
|               |                                        |

|              |                      |  |
|--------------|----------------------|--|
| 単元(題材名)      | 4. のこりは いくつ ちがいは いくつ |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算               |  |

### 【到達目標】

|               |                                                |
|---------------|------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 求残の場面，求補の場面，求差の場面について，減法の意味を理解することができる。      |
|               | ○ ひきざんの用語を知り，正しく用いることができる。                     |
|               | ○ 求残の場面，求補の場面，求差の場面を減法の式に表すことができる。             |
|               | ○ 10以下の数から1位数をひく減法の計算方法を理解し，計算することができる。        |
|               | ○ 0を含む減法について，式の意味や計算方法について理解し，計算することができる。      |
| 思・判・表         | ○ 減法が用いられる場面について，その関係を式に表して答えを求めることができる。       |
|               | ○ 10以下の数から1位数をひく減法の適用問題を解いたり，お話をつくったりすることができる。 |
|               |                                                |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 日常の事象から求残や求補，求差の場面を捉え，進んで減法を用いようとしている。       |
|               | ○ 減法のお話をつくろうとしている。                             |
|               |                                                |

### 【評価規準】

|               |                                               |
|---------------|-----------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 求残の場面について，減法の意味と式の表し方を理解している。               |
|               | ○ ひきざんの用語を知り，正しく用いている。                        |
|               | ○ 10以下の数から1位数をひく減法の計算方法を理解している。               |
|               | ○ 10以下の数から1位数をひく減法の計算をしている。                   |
|               | ○ 求補の場面について，減法の意味と式の表し方を理解している。               |
|               | ○ 0を含む減法の式の意味や計算方法を理解し，計算している。                |
|               | ○ 求差の場面について，減法の意味と式の表し方を理解している。               |
|               | ○ 10以下の数から1位数をひく減法計算を習熟するために，計算カードを使って練習している。 |
| 思・判・表         | ○ 問題文から求残の場面を捉え，減法の式に表して答えを求めている。             |
|               | ○ 問題文から求補の場面を捉え，減法の式に表して答えを求めている。             |
|               | ○ 問題文から求差の場面を捉え，減法の式に表して答えを求めている。             |
|               | ○ 式と絵を用いて，減法のお話をつくっている。                       |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ ブロックなどの操作活動を通して，求残や求補，求差の意味を考え，説明している。      |
|               | ○ 日常の事象から求残や求補，求差の場面を捉え，進んで減法を用いている。          |
|               |                                               |

|              |             |  |
|--------------|-------------|--|
| 単元(題材名)      | 5. どちらが ながい |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | C 測定        |  |

### 【到達目標】

|               |                                               |
|---------------|-----------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 直接比較により，長さを比較することができる。                      |
|               | ○ 間接比較により，長さを比較することができる。                      |
|               | ○ 任意単位を用いることにより，長さが数値化できることを知り，長さを比較することができる。 |
| 思・判・表         | ○ 長さの比べ方を考えることができる。                           |
|               |                                               |
|               |                                               |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 身の回りにあるものの長さに関心を持ち，いろいろな方法で工夫して比べようとする。     |
|               | ○ 長さを数値で表すことのよさに気づき，日常生活で進んで用いようとする。          |
|               |                                               |

### 【評価規準】

|               |                                            |
|---------------|--------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 長さの意味がわかり，直接比較によって長さを比較している。             |
|               | ○ 媒介物を用いて，長さを間接比較する方法を理解し，長さを比較している。       |
|               | ○ 任意の長さを単位にして，そのいくつかで長さを表し，長さを比較している。      |
|               |                                            |
|               |                                            |
| 思・判・表         | ○ 長さの比べ方を考えている。                            |
|               |                                            |
|               |                                            |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 身の回りにあるものの長さに関心を持ち，いろいろな比べ方を友だちと話し合っている。 |
|               | ○ 長さを数値で表すことのよさに気づき，進んで用いている。              |
|               |                                            |

|              |                  |  |
|--------------|------------------|--|
| 単元(題材名)      | 6. わかりやすく せいりしよう |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | D データの活用         |  |

### 【到達目標】

|               |                                                   |
|---------------|---------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ ものの個数を，絵を用いて簡単なグラフに表すことができる。                    |
|               | ○ 絵グラフに表したもののから，数が最も多いところや少ないところなどの特徴を読み取ることができる。 |
|               | ○ ものの個数を比べるには，ものの大小にかかわらず，数を横にそろえれば比べやすいことがわかる。   |
| 思・判・表         | ○ どのような絵グラフにすれば，ものの個数を比べやすくなるかを考えることができる。         |
|               |                                                   |
|               |                                                   |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ ものの個数を表すのに，進んで絵グラフを用いようとする。                     |
|               |                                                   |
|               |                                                   |

### 【評価規準】

|               |                                             |
|---------------|---------------------------------------------|
| 知・技           | ○ ものの個数を，絵を用いて簡単なグラフに表している。                 |
|               | ○ 絵グラフから，数が最も多いところや少ないところなどの特徴を読み取っている。     |
|               | ○ ものの個数を比べるには，大きさをそろえて並べれば比べやすくなることを理解している。 |
| 思・判・表         | ○ どのような絵グラフにすれば，ものの個数を比べやすくなるかを考えている。       |
|               |                                             |
|               |                                             |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ ものの個数を表すのに，進んで絵グラフに表し，ものの個数の多少を比べている。     |
|               |                                             |
|               |                                             |

|              |                 |  |
|--------------|-----------------|--|
| 単元(題材名)      | 7. 10より おおきい かず |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算          |  |

### 【到達目標】

|               |                                                  |
|---------------|--------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 10をひとまとまりにして数えるよさに気づき、20までの数を10といくつと捉えることができる。 |
|               | ○ 2とび、5とびの数え方がわかる。                               |
|               | ○ 10より大きい数について、順序よく並べることができる。                    |
|               | ○ 10より大きい数について、数直線をもとに、数の大小、系列がわかる。              |
|               | ○ 20より大きい数について、数え方、読み方、書き方がわかる。                  |
|               | ○ 簡単な場合について、2位数と1位数の加法、減法の計算をすることができる。           |
| 思・判・表         | ○ 簡単な場合について、2位数と1位数の加法、減法のしかたを考えることができる。         |
|               |                                                  |
|               |                                                  |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 数の大きさについて、数をいろいろな表し方で表そうとする。                   |
|               |                                                  |
|               |                                                  |

### 【評価規準】

|               |                                             |
|---------------|---------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 20までの数について、10とあといくつという見方で数えるとよいことを理解している。 |
|               | ○ 11から20までの数を読んだり、表したりしている。                 |
|               | ○ 20までの数の構成の理解を深め、その順序、系列を理解している。           |
|               | ○ 2とび、5とびで数えるよさを理解し、数えている。                  |
|               | ○ 20までの数直線の読み方を理解し、20までの数の大小を比較している。        |
|               | ○ 20から40までの数を読んだり、表したりしている。                 |
|               | ○ 簡単な場合について、2位数と1位数の加法の計算をしている。             |
|               | ○ 簡単な場合について、2位数と1位数の減法の計算をしている。             |
| 思・判・表         | ○ 簡単な場合について、2位数と1位数の加法の計算のしかたを考えている。        |
|               | ○ 簡単な場合について、2位数と1位数の減法の計算のしかたを考えている。        |
|               |                                             |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 20までの数を、いろいろな表し方で表している。                   |
|               | ○ 40より大きい数について、友だちと話し合っている。                 |
|               |                                             |

|              |              |  |
|--------------|--------------|--|
| 単元(題材名)      | 8. なんじ なんじはん |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | C 測定         |  |

# 【到達目標】

|               |                                           |
|---------------|-------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 時計を見て、何時、何時半の時刻を読み取ることができる。             |
|               | ○ 示された時刻の何時、何時半になるように時計の長針、短針を合わせることができる。 |
|               |                                           |
| 思・判・表         | ○ 何時、何時半の時刻と長針、短針の位置との対応を考えることができる。       |
|               |                                           |
|               |                                           |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 毎日の生活を通して、生活と時刻の関連に関心をもち、時刻を読もうとする。     |
|               |                                           |
|               |                                           |

# 【評価規準】

|               |                                                      |
|---------------|------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 時計を見て、何時、何時半の時刻を読み取っている。                           |
|               | ○ 示された時刻の何時、何時半になるように時計の長針、短針を合わせている。                |
|               |                                                      |
| 思・判・表         | ○ 何時、何時半の時刻と長針、短針が運動していることを考えている。                    |
|               |                                                      |
|               |                                                      |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 毎日の生活を通して、生活と時刻の関連に関心をもち、教室の時計を見て、何時、何時半の時刻を読んでいる。 |
|               |                                                      |
|               |                                                      |



|              |                 |  |
|--------------|-----------------|--|
| 単元(題材名)      | 9. 3つの かずの けいさん |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算          |  |

### 【到達目標】

|               |                                                     |
|---------------|-----------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 具体的な場面に即して、数量の関係を3口の数の加法、減法、加減混合の式に表す方法がわかる。      |
|               | ○ 3口の数の加法、減法、加減混合の計算のしかたがわかる。                       |
|               | ○ 3口の数の加法、減法、加減混合の計算ができる。                           |
| 思・判・表         | ○ 既習の加法や減法の考えを適用して、数量の関係を、3口の加法、減法、加減混合の式に表すことができる。 |
|               | ○ 3口の数の計算を使って、適用問題を解くことができる。                        |
|               |                                                     |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 具体的な場面に即して、数量の関係を3口の数の加法、減法、加減混合の計算を日常生活に生かそうとする。 |
|               |                                                     |
|               |                                                     |

### 【評価規準】

|               |                                                       |
|---------------|-------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加法の式に表せることを理解している。                   |
|               | ○ 続いて起こる事柄を、3口の数の減法の式に表せることを理解している。                   |
|               | ○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加減混合の式に表せることを理解している。                 |
|               | ○ 3口の数の加法の計算をしている。                                    |
|               | ○ 3口の数の減法の計算をしている。                                    |
|               | ○ 3口の数の加減混合の計算をしている。                                  |
| 思・判・表         | ○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加法の式に表している。                          |
|               | ○ 続いて起こる事柄を、3口の数の減法の式に表している。                          |
|               | ○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加減混合の式に表している。                        |
|               | ○ 3口の数の計算を使って、適用問題を解いている。                             |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 具体的な場面に即して、数量の関係を3口の数の加法、減法、加減混合の式に表すことに進んで取り組んでいる。 |
|               |                                                       |
|               |                                                       |

|              |              |  |
|--------------|--------------|--|
| 単元(題材名)      | 10. どちらが おおい |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | C 測定         |  |

### 【到達目標】

|               |                                           |
|---------------|-------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 直接比較，間接比較により，かさの大小を比較することができる。          |
|               | ○ 任意単位を用いて数値化して，かさの大小を比較することができる。         |
|               |                                           |
| 思・判・表         | ○ かさの比べ方を考えることができる。                       |
|               |                                           |
|               |                                           |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 身の回りにあるもののかさに関心をもち，いろいろな方法で工夫して比べようとする。 |
|               | ○ かさを数値で表すことのよさに気づき，日常生活で進んで用いようとする。      |
|               |                                           |

### 【評価規準】

|               |                                       |
|---------------|---------------------------------------|
| 知・技           | ○ かさの意味がわかり，直接比較によってかさを比較している。        |
|               | ○ 媒介物を用いて，かさを間接比較する方法を理解し，かさを比較している。  |
|               | ○ 任意のかさを単位にして，そのいくつ分をかさを表し，かさを比較している。 |
| 思・判・表         | ○ かさの比べ方を考えている。                       |
|               |                                       |
|               |                                       |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 身の回りにあるもののかさに関心をもち，いろいろな比べ方を探している。  |
|               | ○ かさを数値で表すことのよさに気づき，進んで用いている。         |
|               |                                       |

|              |          |  |
|--------------|----------|--|
| 単元(題材名)      | 11. たしざん |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算   |  |

### 【到達目標】

|               |                                                      |
|---------------|------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算原理や方法を理解し、正しく計算することができる。 |
|               | ○ くり上がりのある1位数どうしの加法の計算カードを使って計算の練習をし、計算に習熟することができる。  |
|               |                                                      |
| 思・判・表         | ○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算方法を考えることができる。            |
|               | ○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の適用問題を解くことができる。             |
|               |                                                      |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算方法を考え、説明しようとする。          |
|               |                                                      |
|               |                                                      |

### 【評価規準】

|               |                                                          |
|---------------|----------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ くり上がりのある(1位数)+(1位数)の計算方法を理解している。                       |
|               | ○ くり上がりのある(1位数)+(1位数)の計算をしている。                           |
|               | ○ 加法の計算カードを用いて計算練習をしている。                                 |
| 思・判・表         | ○ くり上がりのある(1位数)+(1位数)の計算方法を、10のまとまりをつくることに着目して考えている。     |
|               | ○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の適用問題を解いている。                    |
|               |                                                          |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算方法を考え、友だちにわかりやすく説明する工夫をしている。 |
|               |                                                          |
|               |                                                          |

|              |            |  |
|--------------|------------|--|
| 単元(題材名)      | 12. かたちあそび |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | B 図形       |  |

### 【到達目標】

|               |                                              |
|---------------|----------------------------------------------|
| 知・技           | ○ いろいろな箱などを使って、いろいろな形を構成することができる。            |
|               | ○ いろいろなものの形に着目して、基本的な立体図形の特徴がわかる。            |
|               | ○ いろいろな立体の面を写し取り、絵をかく活動を通して、基本的な平面の特徴がわかる。   |
| 思・判・表         | ○ 立体図形について、形以外の属性を捨象して、立体図形の形の特徴を捉えることができる。  |
|               | ○ 平面図形について、形以外の属性を捨象して、形の特徴を捉えることができる。       |
|               |                                              |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 身の回りにあるものの形について、観察したり構成を調べたりして、図形に親しもうとする。 |
|               |                                              |
|               |                                              |

### 【評価規準】

|               |                                           |
|---------------|-------------------------------------------|
| 知・技           | ○ いろいろな箱や缶などの立体を用いて、身の回りにある具体物をつくっている。    |
|               | ○ 立方体、直方体、円柱を積み上げるときの注意事項を指摘している。         |
|               | ○ 立方体、直方体、円柱、球の中で、ころがる形を指摘している。           |
|               | ○ 立方体、直方体、円柱、球の仲間集めを通して、立体図形の特徴を理解している。   |
|               | ○ 立体の面を紙に写し取り、立体図形の構成要素である平面図形の特徴を理解している。 |
|               | ○ 立体の面を紙に写し取り、絵をかいている。                    |
|               | ○ ましかく、しかく、まるの特徴を理解している。                  |
| 思・判・表         | ○ 立体図形を手にもって触れることで、立体図形の特徴を捉えている。         |
|               | ○ 立体の面を写してかいた絵について、どんな形を使ってかいたかを説明している。   |
|               | ○ 形以外の属性を捨象して、形の特徴を捉えている。                 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 身の回りにあるものの形について、観察したり触れたり、分解したりしている。    |
|               |                                           |
|               |                                           |

|              |          |  |
|--------------|----------|--|
| 単元(題材名)      | 13. ひきざん |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算   |  |

### 【到達目標】

|               |                                                              |
|---------------|--------------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 10いくつから1位数をひいて，差が1 位数になる減法の計算原理や方法を理解し，正しく計算することができる。      |
|               | ○ 10いくつから1位数をひいて，差が1 位数になる減法の計算カードを使って計算の練習をし，計算に習熟することができる。 |
|               |                                                              |
| 思・判・表         | ○ 10いくつから1位数をひいて，差が1 位数になる減法の計算方法を考えることができる。                 |
|               | ○ 10いくつから1位数をひいて，差が1 位数になる減法の適用問題を解くことができる。                  |
|               |                                                              |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 10いくつから1位数をひいて，差が1 位数になる減法の計算方法を考え，説明しようとする。               |
|               |                                                              |
|               |                                                              |

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

### 【評価規準】

|               |                                                             |
|---------------|-------------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ くり下がりのある(10いくつ)－(1位数)の計算方法を理解している。                        |
|               | ○ くり下がりのある(10いくつ)－(1位数)の計算をしている。                            |
|               | ○ 減法の計算カードを用いて計算練習をしている。                                    |
| 思・判・表         | ○ くり下がりのある(10いくつ)－(1位数)の計算方法を，18までの数の構成に着目して1位数をひくことを考えている。 |
|               | ○ 10いくつから1位数をひいて，差が1 位数になる減法の適用問題を解いている。                    |
|               |                                                             |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 10いくつから1位数をひいて，差が1 位数になる減法の計算方法を考え，友だちにわかりやすく説明する工夫をしている。 |
|               |                                                             |
|               |                                                             |

|              |             |  |
|--------------|-------------|--|
| 単元(題材名)      | 14. おおきい かず |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算      |  |

# 【到達目標】

|               |                                                            |
|---------------|------------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 100までの数や簡単な3位数を数えたり，読んだり，表したりすることができる。                   |
|               | ○ 2位数について，各位の数字の意味や空位の0の意味がわかり，一のくらい，十のくらいの用語を正しく使うことができる。 |
|               | ○ 100までの数や簡単な3位数について，順序，系列を理解し，大小を比較することができる。              |
|               | ○ 和が100までの(何十)+(何十)の計算と，その逆の減法の計算原理を理解し，計算することができる。        |
|               | ○ くり上がり，くり下がりのない2位数と1位数の加法と減法の計算原理を理解し，計算することができる。         |
| 思・判・表         | ○ 数表を使って100までの数を調べ，その特徴を説明することができる。                        |
|               | ○ 和が100までの(何十)+(何十)の計算と，その逆の減法の計算方法を考えることができる。             |
|               | ○ くり上がり，くり下がりのない2位数と1位数の加法と減法の計算方法を考えることができる。              |
|               | ○ 100までの数の加法や減法の適用問題を解くことができる。                             |
|               | ○ 2位数の1つの数について，いろいろな表し方を考えることができる。                         |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 2位数をいろいろな表し方で考え，友だちの表し方を聞いて，自分の表し方を見直そうとする。              |
|               |                                                            |
|               |                                                            |

# 【評価規準】

|               |                                                           |
|---------------|-----------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 具体物の個数を10のまとまりをつかって数え，2位数の構成や表し方，読み方を理解している。            |
|               | ○ 2位数の構成的な見方について理解している。                                   |
|               | ○ 2位数について，各位の数字の意味や空位の0の意味を理解している。                        |
|               | ○ 一のくらい，十のくらいの用語を知り，正しく使っている。                             |
|               | ○ 100という数の構成や大きさ，読み方，表し方を理解している。                          |
|               | ○ 120程度までの3位数の読み方，表し方，順序，系列を理解している。                       |
|               | ○ 120程度までの数直線を見て，数の大小，系列などを理解している。                        |
|               | ○ 和が100までの(何十)+(何十)の計算と，その逆の減法の計算原理を理解し，計算している。           |
|               | ○ くり上がり，くり下がりのない2位数と1位数の加法と減法の計算原理を理解し，計算している。            |
| 思・判・表         | ○ 数表を使って100までの数を調べ，その特徴を説明している。                           |
|               | ○ 和が100までの(何十)+(何十)の計算と，その逆の減法の計算方法を考えている。                |
|               | ○ くり上がり，くり下がりのない2位数と1位数の加法と減法の計算方法を考えている。                 |
|               | ○ 100までの数の加法や減法の適用問題を解いている。                               |
|               | ○ 2位数の1つの数について，いろいろな表し方を考えている。                            |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 2位数のいろいろな表し方について，友だちの表し方を聞いて，自分の表し方と似ている部分や違う部分を説明している。 |
|               |                                                           |
|               |                                                           |

|              |              |  |
|--------------|--------------|--|
| 単元(題材名)      | 15. どちらが ひろい |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | C 測定         |  |

### 【到達目標】

|               |                                               |
|---------------|-----------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 直接比較により，広さを比較することができる。                      |
|               | ○ 任意単位を用いることにより，広さが数値化できることを知り，広さを比較することができる。 |
|               |                                               |
| 思・判・表         | ○ 広さの比べ方を考えることができる。                           |
|               |                                               |
|               |                                               |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 身の回りにあるものの広さに関心を持ち，いろいろな方法で工夫して比べようとする。     |
|               | ○ 広さを数値で表すことのよさに気づき，日常生活で進んで用いようとする。          |
|               |                                               |

### 【評価規準】

|               |                                            |
|---------------|--------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 広さの意味がわかり，直接比較によって広さを比較している。             |
|               | ○ 広さは任意単位によって数値化して比較できることを知り，広さを比較している。    |
|               |                                            |
| 思・判・表         | ○ 広さの比べ方を考えている。                            |
|               |                                            |
|               |                                            |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 身の回りにあるものの広さに関心を持ち，いろいろな比べ方を友だちと話し合っている。 |
|               | ○ 広さを数値で表すことのよさに気づき，進んで用いている。              |
|               |                                            |

|              |             |  |
|--------------|-------------|--|
| 単元(題材名)      | 16. なんじなんぷん |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | C 測定        |  |

### 【到達目標】

|               |                                                   |
|---------------|---------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 時計を見て、何時何分と1分単位で時刻を読み取ることができる。                  |
|               | ○ 示された時刻になるように時計の長針，短針を合わせることができる。                |
|               |                                                   |
| 思・判・表         | ○ 何時何分の時刻と長針，短針の位置との関係を考えることができる。                 |
|               |                                                   |
|               |                                                   |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 毎日の生活を通して、生活と時刻の関連に関心を持ち、時刻を読み、時刻を意識して生活しようとする。 |
|               |                                                   |
|               |                                                   |

### 【評価規準】

|               |                                                    |
|---------------|----------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 時計を見て、何時何分と1分単位で時刻を読み取っている。                      |
|               | ○ 示された時刻になるように時計の長針，短針を合わせている。                     |
|               |                                                    |
| 思・判・表         | ○ 何時何分の時刻と長針，短針の位置との対応を考えている。                      |
|               |                                                    |
|               |                                                    |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 毎日の生活を通して、生活と時刻の関連に関心を持ち、教室の時計を見て、何時何分の時刻を読んでいる。 |
|               |                                                    |
|               |                                                    |



|              |                |  |
|--------------|----------------|--|
| 単元(題材名)      | 17. たしざんと ひきざん |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A 数と計算         |  |

### 【到達目標】

|               |                                       |
|---------------|---------------------------------------|
| 知・技           | ○ 問題場面の構造を図に表すと、数量の関係を簡潔に捉えられることがわかる。 |
|               | ○ 問題を解決する際、問題場面を図に表すことができる。           |
|               |                                       |
| 思・判・表         | ○ 図から加減の場면을捉え、立式して問題を解決することができる。      |
|               |                                       |
|               |                                       |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 問題場面の構造が捉えやすくなるように、進んで図に表そうとする。     |
|               |                                       |
|               |                                       |

### 【評価規準】

|               |                                                 |
|---------------|-------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 順序数についての問題場面を図に表している。                         |
|               | ○ 異種の量についての問題場面を図に表している。                        |
|               | ○ 求大についての問題場面を図に表している。                          |
|               | ○ 求小についての問題場面を図に表している。                          |
|               | ○ 順番を表す集合数についての問題場面を図に表している。                    |
| 思・判・表         | ○ 順序数についての問題を図から立式し、解決している。                     |
|               | ○ 異種の量についての問題を図から立式し、解決している。                    |
|               | ○ 求大についての問題を図から立式し、解決している。                      |
|               | ○ 求小についての問題を図から立式し、解決している。                      |
|               | ○ 順番を表す集合数についての問題を図から立式し、解決している。                |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 問題場面の構造を図に表すと、加減の場面が捉えやすくなるよさに気づき、進んで図に表している。 |
|               |                                                 |
|               |                                                 |

|              |            |  |
|--------------|------------|--|
| 単元(題材名)      | 18. かたちづくり |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | B 図形       |  |

【到達目標】

|               |                                                            |
|---------------|------------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 色板や数え棒を使って，いろいろな形を構成することができる。                            |
|               | ○ 点と点を線でつないで，いろいろな形を構成することができる。                            |
|               |                                                            |
| 思・判・表         | ○ 色板を移動していろいろな形を構成したり，分解したりすることを考え，どのような操作をしたかを説明することができる。 |
|               |                                                            |
|               |                                                            |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 色板や数え棒を使ったり，点と点を線でつないだりする図形の構成活動を通して，自分のつくった形を説明しようとする。  |
|               |                                                            |
|               |                                                            |

【評価規準】

|               |                                                           |
|---------------|-----------------------------------------------------------|
| 知・技           | ○ 色板を使って，いろいろな形をつくっている。                                   |
|               | ○ 数え棒を使って，いろいろな形をつくっている。                                  |
|               | ○ 点と点を線でつないで，いろいろな形をつくっている。                               |
|               | ○ いろいろな形をつくることを通して，基本的な平面図形の特徴を理解している。                    |
| 思・判・表         | ○ 色板の移動について，ずらす，回す，裏返すなどの動かし方を説明している。                     |
|               | ○ 形を構成する活動を通して，基本的な平面図形の見方を深めている。                         |
|               |                                                           |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ 色板や数え棒を使ったり，点と点を線でつないだりする図形の構成活動を通して，基本的な平面図形の見方を深めている。 |
|               |                                                           |
|               |                                                           |

|              |            |  |
|--------------|------------|--|
| 単元(題材名)      | 1 ねんのふくしゅう |  |
| 主領域／領域／内容の区分 | A～D        |  |

【到達目標】

|               |                 |
|---------------|-----------------|
| 知・技           | ○ 既習内容の理解を確認する。 |
|               |                 |
|               |                 |
| 思・判・表         |                 |
|               |                 |
|               |                 |
| 主体的に学習に取り組む態度 |                 |
|               |                 |
|               |                 |

【評価規準】

|               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| 知・技           | ○ 1 年の学習内容について、問題を解決することができる。 |
|               |                               |
|               |                               |
|               |                               |
| 思・判・表         |                               |
|               |                               |
|               |                               |
| 主体的に学習に取り組む態度 |                               |
|               |                               |
|               |                               |